



きせき



軌跡をみつめ、奇跡をおこせ！！43人の仲間たち

村松東小学校 6 学年 便り

平成 22 年 7 月 14 日

第 15 号

夏休みまであと少し！

生活をふいかえろう

6月下旬に、今年度第1回の生活チェック週間が行われました。ご協力ありがとうございました。はじめに目標の起きる時刻・寝る時刻・テレビゲーム時間を子供たちが自分で設定したおかげで、どの子供も目標達成に向けて努力しているようでした。さて、各学級、全校の集計結果が出ましたのでお知らせいたします。

5日間のうち、達成できた日数を書きこもう！

【自分のふりかえり】

① 決めた時刻に起きた	
② 朝ごはんを食べた	
③ 朝 はみがきをした	
④ 体を動かして遊んだ	
⑤ うんちをした	
⑥ 決めた時刻に寝た	
⑦ テレビ・ゲーム時間を守った	
⑧ 夜 はみがきをした	



★4～5日達成

⇒青信号

GOOD!その調子!

★3日達成

⇒黄色信号

青信号目指して意識して生活してみよう!

★0～2日達成

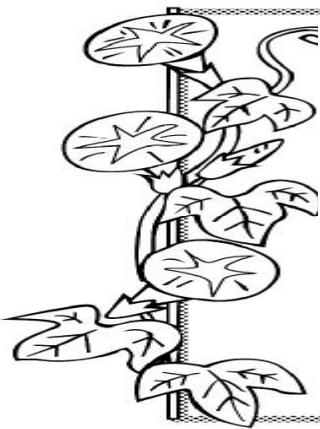
⇒赤信号

生活の見直しが必要です!!

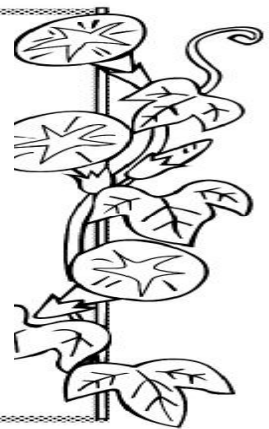
お子さんの様子はいかがでしょう？ふりかえりカードのお家の方からのコメントを見ると、「がんばっていました」よりも「もっとがんばってほしい」コメントが多かったように思えます。残念(>_<)

【達成日数の平均】

	6の1	6の2	全校平均
① 決めた時刻に起きた	3.8	3.4	3.8
② 朝ごはんを食べた	4.9	3.9	4.9
③ 朝 はみがきをした	4.3	4.5	4.6
④ 体を動かして遊んだ	3.9	4.5	4.4
⑤ うんちをした	4.3	4.4	4.1
⑥ 決めた時刻に寝た	3.4	3.5	3.1
⑦ テレビ・ゲーム時間を守った	4.3	4.2	4.0
⑧ 夜 はみがきをした	4.6	4.4	4.5



※学校では、とくに子供たちの早寝に力を入れています。早く寝れば、早い時間でも心地よく目覚めから覚めます。十分な睡眠をとると学習にも集中できると言われています。「まだ眠くない」「もうちょっとテレビが見たい」そんな気持ちが子供たちの本音だと思います。日ごろから早寝がもたらす効果について、家族でも話し合ってみてはいかがでしょうか？



生活は毎日のこと。「次は気を付けよう！」「明日からはがんばってみよう！」子供たちには明日への活力を持って自分の生活スタイルと向き合ってほしいものです。

毎日の生活に関しては、「学校だけ」「家庭だけ」でなく、学校と家庭が連携して、子供たちがよりよく成長していけるよう共に子供たちを見守っていきたいと考えています。ご家庭の事情も様々ですので、無理のない範囲で取り組んでいただきたいと思います。お家の方にとっては、声かけなどご負担をおかけしますが、子供たちにとっては自分の生活を振り返り、改善する良い機会となっています。生活チェック週間は2学期、3学期もありますので、またのご協力をよろしくお願いいたします。

わたしの主張作文



毎年6年生は、「わたしの主張作文」に挑戦してきました。「わたしの主張作文」とは、五泉市では、青少年健全育成を目的として小学生・中学生に社会や日常生活について日ごろ考えていることなどを表現した作文を募集し、各校の代表者が市の大会で発表する取り組みをしています。今年も6年生全員が、「あいさつの大切さ」や「友情」などをテーマに作文を書きました。子供たちは、何をテーマに書こうかと非常に悩みながら書いている様子でしたが、どの子も自分が日ごろ感じていることや考えていることを素直に作文に表現してくれました。そして、全員分の作文を厳正に読ませてもらった結果、1組の齋藤莉歩さんが村松東小学校の代表として市大会で発表してもらうことになりました。莉歩さんは将来の夢をテーマについて、家族の支えや努力することの大切さにもふれながら表現していました。

市大会は、26日（月）に五泉市図書館3階ホールにて13：00～16：30（小学生の部は14：35～15：30）で行われます。子供たちの応援観覧も可能なようですので、お時間のある方はぜひお越しください。



いじめ標語を作りました

先日のフリー参観時に掲示しましたが、ご覧いただけましたでしょうか。いじめは、子供たち一人ひとりが考えなくてはならない問題です。2学期以降もいじめを題材とした取り組みを引き続き行い、子供たちに「いじめをなくそう」という気持ちを高めていく予定です。

なお、夏休み中の8月24日（火）に、いじめ根絶を目指した「心つながる地区の集い」が聖籠町文化会館で開催されます。村松東小学校の代表として、運営委員長の鈴木提樹さん（2組）、副委員長の羽田実希さん（1組）が参加することになりました。